

第47回 一線美術会 武蔵野支部展を終えて

武蔵野支部長 川島 肇

- 会 期…令和4年6月9日(木)～13日(月)
- 会 場…武蔵野市民文化会館展示室

第47回武蔵野支部展は令和4年6月9日(木)から13日(月)の5日間、武蔵野市民文化会館展示室で開催しました。

昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催直前まで準備していた展覧会が中止になり支部会員一同大変落胆しましたが、今年度は感染拡大の気配も収まりようやく第47回展を開催できました。出品者9名、展示点数29点、来場者はおよそ150名でした。諸事情で出品を見送った会員が多数出ましたが9名の作品展示ができました。



会場の設営は初日9時から参加者全員の協力で行い120～60号11点、50～20号11点、15～10号7点全29点の作品を展示しました。

感染拡大予防のために飾り付け後行う恒例の近況報告食事会もなく静かな13時のオープニングとなりました。

今回も地元の美術愛好家の方が開場を待って一番で入場、熱心に観覧していました。

開場間もなくして美術評論家の中野 中先生がご来場されました。早速、制作者の作品一点一点丁寧に画面の構成や色調、創作の意図などご指導いただきました。秋の本展に向けた作品作りに大いに参考になり励みになったと思います。

また、2日目には橋本理事長・高木副理事長を初め小林理事・丸山理事・糸井事務局・岩崎事務局ほかおいいただきました。神奈川・東京・常総支部の方々のご来場をいただき、今秋の第72回展に向けた作品ほか個々のすべての作品に対してご講評ありがとうございました。

また、市の広報や新聞のイベント欄を見て来館された方、会員それぞれが研鑽しているサークルの友人や先生方も大勢来られ、レベルの高い展覧会と評していました。

地元の愛好家の一人(娘さんが画家で活躍中)は「何回か支部展を見ているが他のグループ展に比べレベルが高く毎回楽しませていただいている。来年も楽しみです！」また「会場が広く作品が一層輝いている」「作者の作品がまとめて展示され創作意欲が感じられるいい展示だね」などの感想も聞こえていました。出品者は大勢の先生方のアドバイス来場者の感想等も受けこれからの創作活動に大変参考になり喜んでいました。秋の本展も意欲的な作品完成が期待されます。

最終日は記念写真を撮り来年の支部展に向けて健康には十分に留意しながらいい作品制作に精進・努力することを誓って閉会しました。

貴重なご指導・ご指摘を糧に支部会員一同いい絵作りに一層努力いたします。

